



祝！成人おめでとう

1月11日(日)、令和7年度千曲市成人式が信州の幸あんずホールにおいて開催され、対象者614名中435名の新成人が出席しました。

上の写真は、今年の成人式を企画・運営した成人式実行委員の皆さんです。

式典では、新成人代表2名が、それぞれの思いを込めた「誓いの言葉」を述べました。続く「はたちおめでとうの会」では、思い出ビデオの上映や、「わくわく！ドキドキ！抽選会！！」を行い、会場は大いに盛り上がりました。

特集 成人式

《主な掲載記事》

特集 成人式 2～5

第30回更埴地区短詩型文学祭
入賞作品・公民館からのお知らせ
..... 6～7

もっと知りたいふるさと 8
(上山田地区)

新成人の皆さんおめでとーございます

実行委員長あいさつ

上山田地区 白石 隼士



今年度、千曲市成人式実行委員長を務めさせていただきます白石隼士です。

本日の成人式を無事に迎えることができましたのは家族をはじめ諸先生方、また地域の皆様に支えていただいていたおかげと心より感謝を申し上げます。

私たちは今年二十歳という人生の節目を迎えます。今までとは違い何事にも責任が伴うようになります。私はこの式をきっかけに今一度社会の一員になったことを再確認し、今後の在り方について考えていきたいと思っています。

先ほども申し上げましたが私たちが成人になることができたのは周りの方々のご指導や応援があつてこそだと思います。私は特に家族に支えられました。私の両親は共働きで父は単身赴任、母は早朝から夜遅くまで働いており、幼いころの私はなぜ皆で集まって夕食を食べることができな

いのか、さまざまな場所へ出掛けることができないのか不満に思う日がたくさんありました。ですが成長するにつれ、私が何となく生活できるよう働いてくれているのだと理解し、感謝の気持ちで一杯になりました。私だけではなく皆さんも感謝している方がいると思います。今までお世話になった方々に感謝するとともに、これから私たちが二十歳に向け成長する後輩たちを支える立場となることが果たすべき使命なのではないかと思っています。

私はこれまでも、これからたくさんの人と関わり、さまざまなことを学び、お世話になるでしょう。成人になったとはいえ一人で全て完結できることはありません。支えていただいた方への感謝の気持ちを忘れずに、社会へ、そして、地域に貢献できる成人の一員となっていきたいと思っています。

最後になりますが、本日、成人式を迎えた私たちのためにこのような素晴らしい場を設けてくださいました千曲市長をはじめ職員の皆様、並びに関係者の皆様に新成人を代表して厚く御礼申し上げます。成人式実行委員長の挨拶とさせていただきます。

誓いの言葉

埴生地区 岡本 春輝



本日、私たちは千曲市の新成人として、こうして成人の日を迎えることができました。ここに至るまで支えてくださった家族の皆様、先生方、そして地域の皆様方に、心より感謝を申し上げます。

これまでの20年は、数えきれないほどの出会いと経験に恵まれた日々でした。嬉しいことも、悔しいことも、その一つひとつが今の私たちを形づくってくれました。支えてくださった人々の温かさ、励ましの言葉の重みを胸に刻みながら、今日という節目の日を迎えられたことに深い感謝を覚えます。

成人になるということは、社会の一員として責任を持ち、自らの選択、行動に誇りをもって生きることだと思えます。これからは自分のためだけでなく、周囲の人々、そして地域や社会のためにできることを考え、行動していくことが求められます。失敗を恐れず、挑戦を大切にし、学び続ける大人でありたいと思います。千曲川がゆるやかに流れる

この町で育った私たちは、自然と人のあたたかさの中で、多くのことを学んできました。これからは、ふるさと千曲を大切に思いながら、自分たちの力でより良い未来をつくっていきたいと思います。変化の多い時代だからこそ、一人ひとりが希望を持ち、支え合いながら前へ進むことが大切だと感じています。未来はまだ形のないものですが、私たちの手で少しずつ形づくっていきけると信じています。どんなに小さな一歩でも、その積み重ねが明日の社会をつくっていくと信じて、一人ひとりができることを大切にしていきたいと思います。

そして、どんな時も感謝の気持ちを忘れず、自分らしく一歩ずつ確かな足取りで進んでいくことをここに誓います。これまで支えてくださったすべての方々に感謝を込めて私たちは新たな一歩を踏み出します。

屋代地区 唐澤 七海



本日は、私たちのために素晴らしい式典を挙げていただきましたこと、心より御礼申し上げます。また、市長をはじめご来賓、ご臨席の皆様は新成人を代表し、御礼申し

上げます。

「20歳」という人生の大きな節目を迎えることができているのは、家族や先生方、地域の方々をはじめ多くの方々の支えによるものだと思えて実感しています。幼いころから、温かく見守って下さったこと、心より感謝申し上げます。

私たちが中学校を卒業してから5年がたち、小学校を卒業してからは8年がたっています。皆さんにとって、この8年間はどのように感じられますか。中学校2年生の10月に発生した、令和元年東日本台風では、ここ千曲市も多くの被害に見舞われました。また、コロナウィルスの蔓延が始まり、自宅でのリモート授業や部活動、修学旅行などのイベントで多くの制限を受け我慢を強いられる状況が続きました。そんな経験をしてくれた私たちがだからこそ、ここにいる仲間と20歳という節目を迎えられたことが当たり前ではないと感じることができると思っています。こうして仲間と、無事20歳を迎えられたことに感謝し、これから迎える日々を大切に過ごしてほしいと思います。

私は高校卒業後、千曲市役所に就職しました。学生時代とは異なり、自身の言動、行動に責任が伴います。日々、市民の方からの期待や信用を裏切ることのないよう、丁寧な対応を心がけています。千曲市に住む多くの皆さんが、少しでも安心して快適に過ごせるように日々業務に励んで

います。私の生まれ育った、ここ千曲市や今まで支えてくださった、多くの方々には恩返しをしたいと思います。

最後になりますが、私たちはまだまだ未熟ですが、この地域、社会を担う一人として、自らの可能性を信じ、責任ある行動をもって社会に貢献して参ります。20歳としての自覚・責任を持ち、精進していきます。

どうか今後ともご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。簡単な言葉とさせていただきます。

卒業生の皆さんへ 贈る言葉

令和2年度 戸倉上山田中学校

3年1組担任 倉島 博康

ご成人、おめでとう！
今振り返ると、みなさんと過ごした日々はコロナに振り回され、耐えることの多かった激動の毎日でした。

しかし、そんな中でも知恵と工夫で、日常生活を取り戻したのがみなさんです。

これからの長い人生、いろいろな試練があるかもしれないが、みなさんなら大丈夫でしょう。今後の活躍に期待しています！

あ、ちなみに私は適当に頑張ってますのでご心配なく！

3年2組担任 松橋 彰行

ご成人おめでとうございませう。一番に思い出すのは、音楽会に向けて教室で締め切りの合唱練習をしていた男子たちを叱ったあの日です。

他にもいろんな楽しい思い出が蘇ってきますが、あの時のみなさんがもう大人だなんて感動です。大人になるって、実は中学生のあの頃より自由で、ちよつと自覚や責任が増えるだけ。大人だからって失敗しないようにしなきゃなんて思わなくて大丈夫。私も今でも失敗ばかりです。だからチャレンジする気持ちを忘れず、時には力を抜いて、素敵な人生を歩んでいってください。応援しています。

3年3組担任 町田 祐介

ご成人おめでとうございませう。コロナ禍による突然の休校があり、修学旅行も予定していたとおりに実施できず、先が見えない不安や不自由な学習環境を、たくましく乗り越えられましたね。

覚えていますか？ 3組のみなさんが卒業式の日に歌ってくれた「Fighter!」。その歌詞には「希望の先にある憧れに手を伸ばせば、明日だって手さぐり見つけるよ」とありました。人生をどんなにすばらしいものにするかは、自分次第。ぜひ輝かしい未来を自らの手でつかみ取ってください。

3年4組担任 牧島 司

皆さんとの2年間は、台風やパンデミックなど、本当に予想だにしない出来事の連続でした。今思えば、皆さんが無事に成人式を迎えられたことが、何より嬉しく思います。

妙高サンシャインランドではしゃいだ日々も、今では良い思い出ですね。本当に強い人とは、何度でも立ち上がれる人だと思えます。コロナ禍をたくましく生き抜いた皆さんなら、きつと何があっても大丈夫です。

皆さんのこれからの人生に、皆さんの幸せが訪れることを心から願っています。

3年5組担任 宮崎 崇

ご成人おめでとうございませう。「キヤー!」「ワハハハハ!」

新型コロナウィルスの流行で中止となった修学旅行に替わり行った妙高サンシャインランドで、全力で騒ぎました。「T.O.G.A.M.I.戸上!」つばさ祭では全校ダンスやこれ以上ないくらい練習したクラスダンスと合唱で、全力で青春しました。

保護者の皆様にもたくさん支えていただきました。あの3年間のエネルギー溢れる経験は、今後の皆さんの力になります。未来へ自信を持って歩んでください。いつも応援しています。

新成人の皆さんへ 贈る言葉

戸倉上山田中学校元PTA会長

保護者代表 塚田 修

成人を迎えた皆様へ心からの祝福を申し上げます。

私が皆さんと深くかわったのは中学校生活の中で、たの姿に感慨を禁じえませんでした。あの当時を思い返せば、コロナ禍に翻弄され、活動に制約が掛けられ、思う存分なことができなかった毎日でした。その中で差別や偏見をなくし、他者に対する思いやりや心遣いを学んだと思います。これらは成人となっても必要なことです。どうか大切にして実践をして欲しいと願っています。

これから皆さんは本格的に社会の一員として活躍すると思います。その道は険しいものかもしれませんが、歩みを続けていけばいいのです。苦しい時や迷った時は多くの人に相談や協力を得て下さい。そして自分で決断し歩み始めて欲しいのです。何事にも負けない力を皆さんは持っています。皆さんが活躍するフィールドはさまざまな形で無限に広がっています。それぞれの世界で羽ばたけることを祈っています。

最後になりましたが、ここまで育てられたご家族皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

戸倉公民館長 荒井 茂夫

「光風霽月」雨が上がった後の爽やかな風と澄んだ月。苦しいことや困難を乗り越えた後の晴れやかで清らかな未来を表す言葉です。

思えば、皆さんが多感な時期にコロナ禍となり、学校生活でもさまざまな制約を受け、学習やクラブ活動、友人との親交も制限された生活でした。

そんな長く苦しい時を経て成人を迎え、社会に飛び立とうとしている今、清々しい未来を切り開いてほしいと思います。

世界をみると紛争や気候変動、貧困などさまざまな問題が起き、国内でも大規模災害や物価高騰、少子高齢化など、皆さんも実感しているのではないのでしょうか。

一方、皆さんの世代には多様な価値観や新しい技術が取り入れられ、社会は大きく変化しつつあります。その中で、人や地域、故郷千曲市を明るく照らす未来を創ってほしいと願っています。

ご家族の皆さまには、今まで大切に育てられ、また、温かく見守っていただいた関係の皆様に敬意を表するとともに、心よりお慶び申し上げます。

これから皆さんが歩まれる人生には、晴れの日もあれば波風の立つ日もあるでしょう。しかし、いつの日も自分を大切に、家族を思い支えてくださる方々に感謝の気持ちを持たずにご発展、ご活躍されることをお祈りいたします。

【雨があがった後の爽やかな風と澄んだ月】

～苦しいことや困難を乗り越えた後の晴れやかで清らかな未来を表す言葉～



温かい祝辞が贈られました



「式典」の司会の2人です



しおりの裏表紙



希望にあふれる笑顔ですね!!



ステキな晴着姿でピース!!



凛々しい羽織袴姿で成人式に出席



頼もしい新成人の皆さん



二十歳を迎えて、今のお気持ちは?



小学校区ごとに受付をしています

祝 成人

月霽風光



しおりの表紙



「はたちおめでとうの会」の司会の2人です



箱の中の抽選券を引いています!!



抽選に当たった方からコメントをもらっています



感謝の意を込めて副実行委員長が
あいさつをしています



厳かな雰囲気の式典会場



友だちと一緒に記念撮影!!

成人式実行委員

開催日 令和8年1月11日(日)

実行委員長	白石 隼士(上山田小)
副実行委員長	相沢 福斗(戸倉小)
副実行委員長	茂木 天満(更級小)
司 会	青木 雪音(八幡小)
司会兼抽選会	小井土芹菜(八幡小)
誓いのことば	岡本 春輝(埴生小)
誓いのことば	唐澤 七海(東小)
はたちおめでとうの会	中島 凜(屋代小)
はたちおめでとうの会	奈良本真葉(屋代小)
抽選会担当	児玉野恵瑠(治田小)
しおり作成委員長	小山 愛希(上山田小)
しおり作成委員長	青木 穂香(埴生小)
実行委員	高木 文香(治田小)
実行委員	北原行之助(東小)
実行委員	児玉にいな(戸倉小)
実行委員	宮入 郷綺(五加小)
実行委員	宮下 遥陽(五加小)

第三十回更埴地区短詩型文学祭入賞作品

更埴公民館運営協議会主催の第三十回更埴地区短詩型文学祭の表彰式が、11月29日(土)に千曲市役所で開催されました。

一般の部、小学生の部、中・高校生の部で2,847点の応募作品がありました。次に千曲市関係の入賞作品をご紹介します。なお、作品集は各公民館にありますのでご覧ください。



受賞者の皆さん

短歌

◆更埴地区短詩型文学祭大賞

上田公民館 田島 健
地下足袋は父の遺品ぞ我履けば
足見て孫は「ラクダみたいね」

選評

作者のお家のお父様の遺品の地下足袋。亡くなるまで家族のために尽くしてくれた。苦勞を知らない孫の明るいジョークに、父を偲び平和をかみしめる作者の心が拝察できる良い一首になりました。



俳句

◆更埴地区短詩型文学祭大賞

八幡公民館 青木 直喜
麦の秋足でリズムのハーモニカ

選評

麦の秋は、初夏のころ麦が黄色く実ることを秋に見立てた夏の季語です。そんな風景を見ながら足でリズムをとりハーモニカを吹く青年が浮かびます。違つ物との取合わせが成功のかぎとなりました。



◆佳作

稲荷山公民館 酒井 知恵子
絶え間なき雪解の音に暖かな母の涙を思ふ命日

稲荷山公民館 柳澤 隆
箏笛奥我がへその緒を桐箱に母の温もり心にしみる

塩生公民館 緑川 竹子
年重ね世話なるばかりと嘆かるな灯ともし「お帰り」言うもお仕事

◆更埴公民館運営協議会長賞

屋代公民館 西村 久恵
出迎えのお国訛や夏帽子

選評

夏の暑い日、久しぶりに故郷を訪ねると懐かしい訛言葉で迎えられ暑さも吹っ飛びほっとしたことでしょう。いつになっても産土は良き所です。石川啄木作「ふるさと」の訛なつかし停車場：」の歌が浮かびます。

◆佳作

屋代公民館 多羅沢 美恵子
青空へ狩獵解禁告げる音

屋代公民館 宮崎 一子
畳み皺伸ばす形見の藍浴衣

上田公民館 吉田 とし子
少年の詩風に乗り沖縄忌

上田公民館 荒井 かほる
新築の真昼の宴柿若葉

上田公民館 山崎 好一
そばの花開拓地つぐ十八才

川柳

◆更埴地区短詩型文学祭大賞

屋代公民館 宮沢 和子
子のために愚直に生きた母を追う

選評

「子のために母性本能なのでしょうが、子どものことを第一に」「愚直に生きた」というのも素晴らしい表現だと思います。そんな母を手本にして私も生きたい。「母を追う」が句を締めていると思います。

◆更埴公民館運営協議会長賞

塩生公民館 朝日 光彦
幸不幸人それぞれの目盛り持つ

選評

幸・不幸というのは、その人の感じ方です。一見不幸のように見えても、その人にとっては幸せなのかもしれません。「目盛り持つ」という表現がよいと思います。

◆佳作

屋代公民館 岩佐 亜紀子
迷いなく生きて行く為メガネ拭く

塩生公民館 青木 聡
認知症年金だけは忘れない

塩生公民館 竹内 豊和
終戦の日平和な日本あらためて

戸倉公民館 中村 幸子
受けた恩誰かに返す良い連鎖

小学生の部

短歌

◆奨励賞

屋代小学校5年 北村 彩葉
朝早く桜と一緒に吹きまわりお庭で遊ぶ春の風たち

選評

この歌の主人公は春の風。擬人化したつもりはないと思われるが、桜の花びらと一緒に吹きまわり、遊ぶ春風を美しく詠い、優れた作品となった。作者の対象を静かに見つめる眼がこの歌を生んだ。

塩生小学校4年 大澤 穂乃花
親友に初めてもらう年賀状一まいだけのあたたかさかな

選評

年賀状をやめる人がいる一方で、始める人もいます。LINEでのやりとりとは異なり、年賀状には一枚しかないあたたかさがあると作者。それが親友からならなおさらだ。素直な良い歌になった。

俳句

◆奨励賞

塩生小学校4年 永井 結奏子
草茂る私のキャベツ虫の村

選評

自家菜園でキャベツを育ててきたのでしよう。草ぼうぼうになった畑で、玉をむすんだキャベツも虫の村になってしまったのです。驚きやら残念さやらが「虫の村」と言い切ることで伝わってきます。

川柳

◆奨励賞

屋代小学校5年 宮坂 優希
川の上音がキレイだ落ち着くな

選評

川柳の場合は作者の気持ちや思いが入っていることが重要です。作者は川の上は音がキレイで落ち着くと言っている、いこちが好い所なのでしょう。キレイをカタカナにして強調したのも好い。

屋代小学校5年 宮入 心
ぜつけいだたなだひろがるにじのはし

選評

絶景だと言いつ切っているのが良い。棚田広がるその上に虹の橋が架かる、想像しただけでも美しい句だと思います。

現代詩

◆奨励賞

埴生小学校3年 田村 英大
「かえってこないおつり」

さん歩でコンビニに行った。
お姉ちゃんが行った。
あつてすぐにつかれた。

コンビニに着いた。

中に入ったらずしかなかった。

ばくのおこづかいの千円で

小さいチキンといちごミルクを

買った。

千円を出しておつりは、お姉ちゃんがあずかった。

そのあと、おつりは、なぜかかえってこない。

中・高校生の部

短歌

◆奨励賞

埴生中学校2年 市川 春佳
吹奏楽皆で挑むコンクール楽譜の中にはメモがいっぱい

選評

「楽譜の中にはメモがいっぱい」がいいですね。吹奏楽、皆で、コンクールという言葉のあとに「楽譜のメモ・・・」という表現で真剣に必死にコンクールに挑む様子がイメージできる作品です。

川柳

◆奨励賞

更埴中学校1年 山本 大晴
人生に悔いの無いよう生きてゆく

選評

宣誓文のような素晴らしい句です。人生はまさに悔いがあり、あしとけば良かった、あんなこと言わなければ良かったと悔いばかりです。中学生のうちから心がけていればきっと良い人生になるでしょう。

現代詩

◆奨励賞

埴生中学校2年 市川 春佳
【心の穴】

もし心に穴が空いたら
優しさを貰っても気づかない

もし心に穴が空いたら
あなたは何をやるのだろうか

もし心に穴が空いても
埋めてくれる人がいる

もし心に穴が空いても
まだ、諦めないで

選評

深く考えさせられる作品になりました。「もし心に穴が空いたら」というくりかえしの言葉の効果がこの詩を成功させています。そして「心に穴が空いても」によって、希望や安心感につまれます。すばらしい!!

市川春佳さんは短歌と現代詩の2部門同時受賞され、表彰式においては受賞者代表謝辞を行いました。

第三十回 更埴地区短詩型文学祭

短歌の部

松林 のり子
日誌 百合子

米澤 光人

青木 く美子

大井 さち子

本山 流水

近藤 魁風

青山 鉄夫

小宮山 正雄

柳澤 澄

平野 光子

俳句の部

青木 く美子

大井 さち子

本山 流水

近藤 魁風

青山 鉄夫

小宮山 正雄

柳澤 澄

平野 光子

川柳の部

青山 鉄夫

小宮山 正雄

柳澤 澄

平野 光子

現代詩の部

柳澤 澄

平野 光子

● 公民館からのお知らせ ●

屋代、埴生、稲荷山、八幡公民館の使用料の減免申請について

令和8年度の公民館使用料の減免申請を2月9日(月)から3月6日(金)まで受け付けます。詳細については各公民館にお問い合わせください。

※規定により減免の対象にならない場合があります。

公民館学習活動実績発表会

屋代公民館

サークル発表会

舞台発表

3月7日(土)
午前9時30分～
屋代公民館 講堂



稲荷山公民館

展示発表

2月2日(月)～
2月7日(土)
午前9時～午後5時
最終日のみ～午後1時
稲荷山公民館

舞台発表

2月7日(土)
午前9時～午後1時
稲荷山公民館 講堂

八幡公民館

展示発表

2月25日(水)～
2月28日(土)
午前9時～午後5時
最終日のみ～午後12時30分
八幡公民館

舞台発表

2月28日(土)
午前10時～正午
八幡公民館 講堂

戸倉公民館

展示発表

3月7日(土)
午前10時～午後5時
3月8日(日)
午前9時～午後3時30分
戸倉創造館

舞台発表

3月8日(日)
正午～午後3時
戸倉創造館 大ホール

※「館報ちくま」及び「もっと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もっと知りたい

ふるさと

108

弥生時代最後の土器

御屋敷遺跡

上山田小学校西側の斜面に、白い大きな建物があります。この建物は、昭和45（1970）年に建設されました。

ここには、縄文時代から中世の遺跡として知られる御屋敷遺跡があり、昔から土器や石器が拾える場所でしたが、発掘調査をしないまま工事が進められ、残念なことに遺跡は破壊されてしまいました。しかし、翌年に増築が計画され、その部分の発掘調査を実施することができました。今回は、御屋敷遺跡の発掘

調査で見えられた、「Y4号」という、弥生時代後期の竪穴建物跡（住居跡）から出土した土器について紹介します。

Y4号住居出土土器

住居の床に掘られた穴の中から、5つの土器がまとまって出土しています。穴の大きさは直径80センチくらいで、内部に大きな石が入り込み、その隙間に土器が埋まっています。

写真の①は台付甕かめといって、底の部分に足が付いている甕です。②は甕で、器面全体に文様が描かれています。



御屋敷遺跡 Y4号住居出土土器

③は壺で、頸の部分に文様が描かれ、ボタン状にした粘土が2つずつ、4か所に貼り付けられています。④は底の丸い壺または鉢と考えられ、表面が赤く塗られています。⑤は赤く塗られた高杯で、脚部の内部に、穴をあけた土玉が2つ封入されていました。

弥生文化の解体

千曲川流域の弥生時代後期は、表面を赤く塗る土器がたくさんつくられました。これらは箱清水式土器といいますが、その鮮烈な赤い色がとても印象的なので、こういった土器をつくる地域を「赤い土器のクニ」と呼んでいます。

Y4号住居から出土した土器は、弥生時代後期でも箱清水式土器の後の時期に位置付けられています。赤く塗った壺の姿が消えつつあり、①のような、これまでなかった新しい形の甕が現れます。この甕は東海地方でよくつくられるデザインデザインの土器で、口の部分（口縁部）の断面がアルファベットのSの字になっていることから「S字状口縁台付甕」

と呼んでおり、このような、長野県以外の地域から持ち込まれる（模倣される）土器と同時に、東海地方をはじめ、近畿地方や北陸地方など他地域の文化も一緒に入り込んできます。すると、それまでの「赤い土器のクニ」の文化が徐々に解体されていき、前号（No.107）で当センターの平林大樹が紹介した、新たな王の誕生へと繋がっていきます。

編集後記

新成人の皆様、成人式おめでとうございます。毎年2月号の原稿を目にする時、何度もすっかり自分の意見を持ったその姿が頼もしく圧倒される。それに引き替え何回か前の自分の成人式は、恥ずかしいものだった。

成人式を過ぎれば、酒が飲めると有頂天になり、一緒に参加した幼馴染に連れられ、怪しげな飲み屋に入り、ほとんど初めての酒に、時の感覚も失せて、気を揉んで待っていた家人に成人の挨拶もなく、へべれけに酔って寝てしまった。翌朝母親にこっぴどく叱られたのは言うまでもない。こんな失敗だらけの青春・・・。「青春時代の真ん中」は道に迷っているばかり。このフレーズが浮かんでくる。そんな私だが、学生時代の恩師に言われた言葉「仲間

そして、森將軍塚古墳のような大きな前方後円墳を造る、古墳時代へと移行していきま

す。
今回紹介した弥生時代最後の土器は、さらしなの里歴史資料館に展示されていますので、ぜひ実物をご覧ください。

千曲市歴史文化財センター
寺島 孝典

に良いことがあったら、一緒に喜んでやろう！一緒に喜ぶことにより、喜びは何倍にも大きくなる」を胸に刻んで生きてきた。

社会人となり会社員生活を始める時、そんな甘いものでなく、現実が厳しい！同期入社でも先に昇進する者、遅れる者、しかし私は基本その気持ちを持っていった。だからこそ、ちよっぴり悔しい。でも、手を叩いて一緒に喜んでいた。不思議なことに遅れたと思っただ道が先回りしていたこともあり、先に行った者が横道に反れていた、物凄いわ。ハッとして退社を考えたこともあったが、意外な部署から救いの手が有り、今から思えば、厳しいなかでも比較的、心穏やかに過ごすことができたのではないだろうか？
新成人の方々にも幸多かれと祈る。

（戸倉 一）